

大阪版 2024年 夏号

プレス会報

OSAKA METAL STAMPING ASSOCIATION'S NEWS

目次

◆ 第12回 社員総会	1~3
◆ 金属プレス加工技術展 2024	4
◆ 金属プレス研修塾		
濱田プレス工藝 見学研修	5
同上 アンケート結果	6
閉講式	7~8
◆ 技能検定 実技講習会A	9
◆ 理事会・青年部会	10
◆ 第21回金属プレス国際会議	11~14
I COSPA 大阪開催		

工業会からのご連絡

- 第12回社員総会は5月24日(水) 全議案が原案通りに決議され無事に終了致しました。
- 令和6年 忘年会は12月4日(水)に予定しております。
- 令和7年 新年賀詞交歓会は1月30日(月)に予定しております。



第12回 社員総会

令和6年5月27日（月）16時からシェラトン都ホテル大阪（大阪市天王寺区上本町）3階「三笠の間」にて第12回社員総会を開催致しました。

社員総会は議決権がある正会員85社のうち出席が17社、委任状出席が33社、合計50社の出席があり定款により過半数に達しており社員総会は成立し、第1号議案から第6号議案までが審議されすべて原案通りに決議されました。

第6号議案では役員の変更（役員改選ではない）の報告があり、先の理事会で決定した業務執行理事（副会長）の2名増員が報告されました。

総会の最後では、今年10月に大阪で開催される金属プレス国際会議（ICOSPA）のご紹介が会長からございました。



林 代表理事 ご挨拶



第12回 社員総会の様子



第12回 社員総会の様子



第12回 社員総会の様子

社員総会 懇親会

社員総会の終了後にお部屋を「明日香の間」へ移動して17時から懇親会を開催致しました。席は着席で自由席とし、お料理はご自身で好きな物を取りに行けるbuffeスタイルとさせて頂きました。

今回は参加費を1.1万円とさせて頂きましたが、各社2名様分からは5.5千円とさせて頂き、会員19社から24名の方にご参加頂きました。



林代表理事 開宴のご挨拶

はじめに林代表理事（㈱ハヤシ 代表取締役）から開宴のご挨拶がございました。

総会ではご来賓をお招きしておりませんのでご来賓のご紹介やご挨拶などはなく、早速宴会に移るために乾杯のご発声を濱田恵監事（濱田プレス工藝㈱ 取締役社長）にお願いを致しました。濱田様は社長業を続けることが生きがいであり健康の秘訣だとお話をされ、威勢よく乾杯のご発声をして頂きました。

その後はご歓談の時間となり美味しいお酒とお料理をご自由にお取り頂いて和やかにご歓談頂きました。



濱田監事 乾杯のご発声



濱田監事 乾杯のご発声 と 宴会場の様子

宴会も中盤の頃、司会の島田副会長（カネエム工業㈱ 代表取締役）からアナウンスがあり、お食事をしながらで構いませんのでと今年度の事業のご紹介がありました。まずは朝田副会長（朝田金属工業㈱ 代表取締役）から金属プレス研修塾の第2期生の募集についてのご説明がありました。金属プレス研修塾は1年間、計6回の座学と見学を通してプレス製品が出来る過程を学ぶ塾です。



司会の島田副会長（左） と 朝田副会長（右）



中辻理事（青年部会長）

続いて、工業会の青年部会の中辻会長（㈱大喜金属製作所 代表取締役）から青年部の事業についてのご説明がありました。青年部会は50歳以下の経営者又は経営幹部が活動する場で、月1回の集まりで交流を深めながら経営者としての見識、教養を高めます。次回の青年部では事業継承について、講師を迎えて勉強会を開催する予定であり、興味のある方はオブザーバーとしてご参加下さいとのお話でした。

中盤のイベント紹介の後は更にご歓談を続けて頂きました。料理も大変美味しく、ご参加の皆様には高評価の様でした。料理の写真は紙面の関係で割愛させていただきます。

（別途ご紹介する動画にて料理のご紹介を致します。）

宴会もたけなわ、楽しい会話もまだ続いておりますが、残念ながらお時間となりました。最後は、業務執行理事（副会長）の関健一氏（飯田金属工業㈱ 代表取締役）が閉宴のご挨拶をして、一本締めにて閉宴致しました。



懇親会の様子を動画で見ることが出来ます



関副会長 閉宴のご挨拶

皆様のご参加をお待ちしております！

金属プレス加工技術展 2024

2024年4月17日（水）～19日（金）インテックス大阪にて金属プレス加工技術展 2024が開催されました。この展示会は通常隔年で東京と大阪と交互に開催されており、インターモールド/金型展/金属プレス加工技術展と3つの展示会の合同開催という形式です。

大阪金属プレス工業会の会員企業からは過去最高の21社が出展されました。今回も2年前と同様に当工業会『大阪金属プレス工業会』のブースを出展し、単独出展にはハードルが高い会員企業様に、展示台を分割してお貸しする形でご出展頂きました。また期間中の4月18日（木）には「持続可能な製造業～匠の技と革新技術の調和～」と題したパネルディスカッションも実施致しました。



開会式



プレスサロン（関係者交流会）



大阪金属プレス工業会 ブース



パネルディスカッション

＜出展された当会の会員企業・・・大手賛助会員（プレスメーカー等）は除く＞

- ・(株)青戸金属
 - ・アートウインズシートメタル(株)
 - ・朝田金属工業(株)
 - ・飯田金属工業(株)
 - ・(株)岡野製作所
 - ・カネエム工業(株)
 - ・(株)関西係條製作所
 - ・佐々木工業(株)
 - ・(株)サンコー技研
 - ・タチバナ精機(株)
 - ・タチバナテクノス(株)
 - ・(株)大喜金属製作所
 - ・(株)豊里金属工業
 - ・濱田プレス工藝(株)
 - ・(株)ハヤシ
 - ・(株)ビゼン
 - ・(株)プレス技術研究所
 - ・プレテック(株)
 - ・大阪金属プレス工業会ブースから（三洋金属工業(株)、平金物(株)、日建ラス工業(株)）
- （会員企業 21社が出展）

金属プレス研修塾 濱田プレス工藝 研修

日 時：令和6年4月5日（金）午後2時～4時

訪問先：濱田プレス工藝株式会社 京都工場（京都府綴喜郡宇治田原町大字岩山小字釜井谷 21-31）

内 容：挨拶、会社説明、工場見学、質疑応答など

参加者：15名（塾生 14名、委員長 1名）

金属プレス研修塾は1年を通して金属プレス製品が出来るまでの上流から見学・研修を行っております。10月に製鉄所（神戸製鋼所）、12月にコイルセンター（近江産業）、2月に金型メーカー（明星金属工業）の研修を行ないましたが、続けて今回は濱田プレス工藝株式会社を訪問してプレス製品についての研修を行ないました。

濱田プレス工藝株式会社は昭和22年創立、資本金8600万円、従業員190名、主に大型オートバイや建設機械外装品のプレス製品や自社ブランドのキャビネットなどを製造されていますが、プレス製品以外にもLED照明器具やデジタルサイネージなど多岐にわたる製品を製造されています。濱田恵社長には昨年8月4日の開講式にて塾生に対してこれらプレス製品以外の展開について詳しくご講演して頂きました。今回はそのお話の続編というか、工場を見学させて頂きました。

当日は13時に新田辺駅に集合して濱田プレス工藝の送迎バスで迎えに来て頂きました。まず会議室で会社説明などビデオも交えてご説明して頂きました。その後LED照明器具やデジタルサイネージ等の事業展開について詳しくご説明頂き、その後、第一工場、第二工場と更に少し離れたR&Dセンター CUBIC KYOTO を順に見学させて頂きました。

「無から有を生み出す」という企業理念、常にアンテナを張りアイデアを考え、新分野を積極的に進める濱田恵社長のチャレンジする姿勢とリーダーシップに塾生は感銘を受けました。社員の方も社長の熱意を感じて、電気工事士の資格取得や新しいことにチャレンジされている様子が良くわかりました。社員が制作された京都市のLED街灯照明のプロモーション動画はTVCMのような素晴らしい出来栄でした。

今回は見学出来ませんでしたが、名張工場の無人の塗装ラインについても動画を交えてご説明頂き、安定稼働までご苦労をされたお話などは大変参考になりました。濱田恵社長の野望、魅力的なお話は尽きず、JRと開発したトレインシュミレーター、ドイツでの展示会のお話、東京大学と共同開発中の有機半導体のお話など興味深い物ばかりでした。

濱田恵社長をはじめ濱田プレス工藝の皆様、有難うございました。



濱田プレス工藝(株) 京都工場の見学風景



集合写真

<濱田プレス工藝株式会社 2024.4.5 塾生レポート（アンケート）から抜粋>

（同じ内容のものをまとめました、順不同）

1) 所感（感銘を受けた内容）

○「無から有を生み出す」という理念、新分野への開拓を積極的にすすめる姿

- ・常にアンテナを張ってアイデアを考え、プレスという枠を越えて様々な事業に進出していく姿勢
- ・世界初の有機半導体量産へ東京大学と共同開発している

○自社ブランド品や多岐にわたる製品を生産している

- ・メリックスやLED照明、デジタルサイネージ、宅配ボックス
- ・加工だけでなく一貫生産に対応しており非常に安心できる体制が整っていた

2) 自分の仕事・役割に関して参考になった内容

○前向きにチャレンジする姿勢

- ・濱田社長やその他の方の責任感やリーダーシップは大変参考になりました
- ・諦めずに進めていき時間をかなり使ったが出来なかったことがありました。「諦める所は諦める」
- ・仕事もプライベートでも新製品開発・新機能開発ができるようにアンテナを張る
- ・「無から有を生み出す」今までにあった製品ではなく、今までにない製品を作る
- ・チャンスを見つけたらスピード感だけでなく品質や法令の調査や地盤固めに関しても余念が無い

○名張工場の新しい塗装ラインについて

- ・動画を交えて説明いただき、安定稼働まで非常に苦労されたことを聞き参考になりました。
- ・トラブルが起きた際に、人が手作業でバックアップ生産できるスペースを確保している
- ・組立ラインで柔軟に対応できるようにユニバーサルエリアを作っているなど

3) 自分の会社・組織に関して参考にしたい内容

- ・電気工事士の資格者の養成はプレス工場でも役立つと思いました。
- ・LED照明器具の製造、販売だけではなく現地調査～設置工事、補助金申請までの一貫事業
- ・社会への貢献、入札案件や大学との共同研究、外国人の雇用、工場見学の受入れなど
- ・社員の国際化に適應する為の日本語学校を開催している
- ・自社製品を扱っている所にとっても強みを感じました。PL法や販路、サービス対応など障壁は多いと思いますが、自社で生産した品が街中にあると社員のモチベーションも上がると思います
- ・一般見学を開放して見学に来られた方からさらに製品の受注を受けるという話が参考になった
- ・社長自らが進んで案件や交渉、「無から有を生み出す」行動しておられます。社長が頑張っている姿を見ては各社員も必然と頑張らなくてなりません。

4) その他（印象に残った内容、取組、言葉など）

- ・新分野への参入の意欲を強く感じ、会社説明、工場の雰囲気からも会社の勢いを感じました。
- ・「無から有を生み出す」という言葉、プレスの会社だけど幅広く新しい挑戦をされているところ
- ・濱田社長が仰った「勝つか大負けするかは50:50」という言葉が印象に残ってます。
- ・京都市の街灯の動画について社員様が作成されたそうですがTVCMで見るとプロモーション動画で素晴らしい出来だった。社員の皆様も日々やるべきことを探求され必要な勉強もされているんだということが伝わってきた。
- ・東京大学と共同開発中の有機半導体のお話は非常に印象に残りました。
- ・京都市の街灯LEDでLED独自の粒々感が嫌という意見を受けて、従来の蛍光灯のようにボヤッと光らすように細かい所に注目して対応されて事で指定業者となられた所が印象に残りました。
- ・濱田社長がおっしゃられていた、「相手に頼みごとをするときは熱意が重要」というお話が印象に残りました。熱意を持って人と接することがどれだけ重要なのが今回の見学で理解できました。
- ・JRとコラボして、ドイツで展示会を行っている動画が印象に残りました。
- ・濱田社長がお話しをされている姿が本当に楽しそうで「ああこの方は本当に仕事が大好きなんだな」という事が伝わってきて、このような姿勢で仕事に取り組んでいきたいし、周りも巻き込んでいきたいと思いました。

以上

金属プレス研修塾 閉講式

日 時：令和6年6月7日（金）午後3時～5時00分 塾生交流会：5時20分～7時30分
場 所：たかつガーデン「鈴蘭」 塾生交流会：杯杯天山閣（中華料理）
内 容：1部 講演会 講 師：四宮徳章先生（大阪産業技術研究所 加工成形研究部 主任研究員）
テーマ：「プレス加工に役立つ力学と最新周辺技術」
修了証授与式 林会長から塾生一人ずつ授与（塾生13名）
2部 塾生交流会（慰労会）
参 加 者：19名（塾生13名） 塾生交流会参加者：19名（塾生13名）

大阪金属プレス工業会として初めて実施した『金属プレス研修塾』が1年間の活動を終えてようやく閉講式を迎えました。

昨年8月の開講式でスタートしました。10月は神戸製鋼所、12月は近江産業、2月は明星金属工業、4月は濱田プレス工藝をそれぞれ訪問して見学と研修を実施してきました。当初は塾生15名でスタートしましたが1名の方は途中で育児休暇となり修了証の条件を満たさず、また1名の方は5月末で所属企業を退職されたそうで今回の閉講式はご欠席でした。この方は修了証の授与条件は満たしており、企業からの要望により修了証は郵送でお送りしました。



冒頭の挨拶に立つ朝田副会長兼委員長



四宮先生による座学 講義風景

閉講式では1時間程度座学による研修をしました。講師の四宮先生（大阪産業技術研究所）は今回の講義のテキストとして98ページも及ぶ資料をご準備頂いてプロジェクターで紹介しながらご講義をして頂きました。内容は弾性・塑性や材料の特性や試験、曲げ、絞り、張出し、伸びフランジ、せん断など各種加工の特性など加工の基礎知識や3D スキャナなどのプレスの周辺技術の紹介など多岐にわたるものでした。

講義の終了後には質疑応答の時間を取りましたが、内容が難しすぎるのかどなたからもご質問はありませんでした。



林会長から修了証を授与

四宮先生の講義が終わり、修了証の授与式を行いました。金属プレス研修塾は1年間を通して6回の研修がありますが、5回以上の出席（レポート未提出も欠席扱い）の方に修了証が贈られます。

修了証の授与は当工業会の林代表理事（会長）から塾生一人ずつ登壇して授与を行ないました。

修了証を受け取った塾生は林会長と並んで記念写真を撮り、壇上から会場の参加者に向けて1年間の感想や印象などを述べて頂きました。



塾生から1年間の感想などスピーチ

修了証の授与が終わり最後には林代表理事（会長）が統括のご挨拶を述べて1年間の塾生と関係者の労をねぎらいました。当工業会として初めての試みでしたがとても良い事業でした、今後も続けて行きましようというお言葉でした。

閉講式はこれで終了となり会場を近くの飲食店に移して塾生と関係者の懇親慰労会を行ないました。



懇親慰労会の様子（上3枚） と 最後は塾生全員（+朝田委員長）で記念撮影

技能検定 実技講習会A



技能検定「金属プレス加工」の合格率アップを目指して今年も技能検定に向けた事前講習会を開催します。実技講習会はA、B、Cと3段階に分けて実施していきます。

まずは第1段階として7月2日（火）ポリテクセンター関西にて 実技講習会A「ブランク材の製作」についての講習会を実施しました。ブランク材を正しく作ることが合格へのキーポイントです。ブランクの計算式、けがき方法、金切りばさみで正しく切り、仕上げ加工、寸法測定、修正と手順を追って手厚い指導を心掛けました。昨年度は参加者を会員の受検者に限定致しましたが、今年はその枠を取り外して受検者であればどなたでも受講頂けることとしました。今年は1級3名（会員1名、非会員2名）、2級15名（会員10名、非会員5名）、合計18名の方にご参加頂きました。

実技試験の課題は1級と2級では違います。2級は丸型のフランジを持つ絞り製品を作りますのでブランク材も円形に切りますが1級は正八角形のフランジを持つ絞り製品を作りますのでそれに適したケガキとハサミでのカットが必要になります。指導員は1級に1名、2級に2名を配置して指導に当たりました。



ブランク計算の説明、覚えるポイントなどの指導（左が1級、右が2級）



材料にキガキ線を入れて実際にハサミで切る指導（左が1級右が2級）

材料を金切りハサミで切る作業は現在の日常のプレス業務ではありえませんが、技能検定ではこれがあります。いかに切りやすいハサミを使い短時間で上手に切るかが合格のポイントでもあります。参加された方で適していないハサミで時間がかかっている人も見受けられました。当工業会では適したハサミやコンパスも販売しています。

この日製作したブランク材は次の実技講習会Bに持参頂いて実際にプレス機で絞り製品の課題に取り組みます。参加された方全員の合格をして頂きますように。

理事会・委員会活動 報告

開催日時、場所	内 容	参加者	写 真
第29回 理事会 4月26日 18時00分～ たかつガーデン「鈴蘭」	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業・収支決算報告 ・同 会員異動状況報告 ・役員の変更について ・総務・経営委員会から報告 ・安全・技術委員会から報告 ・金属プレス国際会議 (ICOSPA) ・令和6年度事業・予算計画 (案) 	13名	
令和6年度 技能検定委員 打合せ会議 5月30日 16時00分～ パナソニック モノづくり 研修所	<ul style="list-style-type: none"> ・現場・プレス機確認 ・検定スケジュール確認 ・検定委員・補佐員の配置調整 ・資料等の今年の変更点 	6名	

青年部会 活動報告

青年部会とは、50歳以下の次代を担う若手経営者及び経営幹部による活動の場です。毎月メンバーが集まり、近況報告会や勉強会（講師例会）、工場見学会などを実施して経営者としての見識・教養を高め、会員同士の交流を深めています。

4月は青年部会の総会を開催し1年間の総括と次年度の事業計画と役員決定を行ないました。5月は例会を開催し、次月の講師例会や秋の3地区合同交流会についての検討を行ないました。6月は講師例会を開催しました。講師例会は講師をお招きしての勉強会です。今回は居相浩介様（株式会社アベル代表取締役）を講師に招いて「青円滑な事業承継について」



4月青年部会の総会



6月青年部会の講師例会

というテーマで講義

をして頂き、その後は青年部のメンバーと今回オブザーバーでご参加頂いた青年部以外の若手経営者の方も交えて意見交換を致しました。ご参加皆さんには事業継承は身近なもので、経験談（先代との駆け引きや意見の食い違い、世代のギャップ）またこれから事業を継承する方の悩みなどそれぞれの立場で色々な意見が聞けて大変参考になったと高評価でした。講師例会の後は参加者全員で近隣の飲食店にて会食（懇親会）を行ない、ウラ話などで盛り上がったそうです。皆さんが参加して良かったと言って頂きました。

第21回 金属プレス国際会議

大阪開催

21st International Congress
on Sheet Metal Work

◆10月23日(水) 1日目

開始時間	終了時間	事業名	場所	会場	ドレスコード
13:00	17:00	各国代表者会議	ホテルニューオータニ大阪	ニューヨークスワン	
15:00	18:30	登録受付	ホテルニューオータニ大阪	2階	
19:00	21:00	ウェルカムパーティー	ホテルニューオータニ大阪	鳳凰の間	カジュアル

◆10月24日(木) 2日目

開始時間	終了時間	事業名	場所	会場	ドレスコード
09:00	09:15	開会式 (一社)日本金属プレス工業協会 会長挨拶 来賓挨拶	ホテルニューオータニ大阪	鳳凰の間	平服
09:15	10:35	基調講演 田岡 秀樹 (元・本田技研工業 / 元・型技術協会会長)	ホテルニューオータニ大阪	鳳凰の間	平服
10:35	11:00	休憩			
11:00	12:30	各国の代表による パネルディスカッション	ホテルニューオータニ大阪	鳳凰の間	平服
12:30	14:00	昼食 <ホテルニューオータニ大阪>			
14:00	15:30	プレス機械メーカーによる 先端技術発表	ホテルニューオータニ大阪	鳳凰の間	平服
15:30	15:50	休憩			
15:50	16:50	技術講演 楊 明 (東京都立大学教授)	ホテルニューオータニ大阪	鳳凰の間	平服
16:50		2024年金属プレス国際会議 「大阪宣言」	ホテルニューオータニ大阪	鳳凰の間	平服

◆10月25日(金) 3日目

開始時間	終了時間	事業名	場所	会場	ドレスコード
08:00	17:00	工場見学 <ul style="list-style-type: none"> Aコース.....ダイキン工業・向陽技研..... Bコース.....京セラ・須河車体..... Cコース.....千石・カワサキモータース..... 	ダイキン工業・向陽技研 京セラ・須河車体 千石・カワサキモータース	滋賀・堺方面 滋賀・京都方面 兵庫(加西・明石)方面	長袖・長ズボン (※サンダル・ヒール靴不可)
18:15	18:40	会場移動			
19:00	21:30	フェアウェルパーティー	リーガロイヤルホテル大阪	山楽の間	インフォーマル (スーツ・ネクタイ着用)

講演・パネルディスカッション・発表

メインテーマ

Main Theme

持続可能な製造業 - 匠の技と革新技術の調和 -

Sustainable Manufacturing - Harmony of Tradition & Innovation -

09:15

基調講演

我々は2030年に“こうやって”EVに乗る！
金属プレス技術が果たす重要な役割と未来予想図



◇ 講師：田岡 秀樹 氏

◇ 略歴

2010年 ホンダエンジニアリング(株)車体領域 執行役員
2013年 本田技研工業(株)四輪事業本部 設備金型企画推進室室長
2023年 エリコンジャパン/タンガロイ/狭山金型 アドバイザー

11:00

各国の代表による パネルディスカッション

持続可能な製造業に向けて - 匠の技と革新技術の調和 -

◇ パネリスト：イギリス・アメリカ・ドイツ
フランス・中国・日本



14:00

プレス機械メーカーによる 先端技術発表

日本のプレス機械メーカーの革新技術

◇ 登壇企業：アイダエンジニアリング株式会社
株式会社アマダ
株式会社小松製作所

AIDA

AMADA

KOMATSU

15:50

技術講演

革新的な金属加工技術が導く持続可能なものづくり
Towards Sustainable Manufacturing with Smart Metal forming technologies



◇ 講師：楊明 氏 (Mr.YANG Ming)

◇ 講演内容

サーボプレス、IoT、AI技術などを駆使したプレス加工の
知能化への取り組み事例を紹介し、デジタル情報と現場技術者の知識の融合による
高度で持続可能なプレス加工技術の開発及び技術伝承の促進について。

◇ 略歴

東京都立大学教授
京都大学大学院工学研究科博士課程(1990年終了)・工学博士(1990年取得)
多くの企業と産学共同研究を行い数多くの特許出願。
素形材センター・素形材産業技術表彰委員なので日本のものづくり技術促進などに努めた。

工場見学

10月25日(金) 3日目

Aコース 滋賀・堺方面



Bコース 滋賀・京都方面



Cコース 兵庫(加西・明石)方面



A

コース

滋賀・堺方面

A-1

ダイキン工業株式会社 滋賀製作所

ルームエアコンや空気清浄機などを生産する。省エネ性・快適性を追求した商品開発、デジタル技術と熟練技術を組み合わせた生産体制で、安全で高品質な商品を生産している。またグローバルマザー工場として、海外向け製品の開発や滋賀製作所で導入した生産設備の海外拠点への展開を行っている企業。

- ◆ 見どころ ⇒ ルームエアコンや空気清浄機などの生産ライン。ダイキン独自の生産システム。



A-2

向陽技研株式会社

サマーベッド用角度調整金具から座椅子用金具に、そして、ソファの金具に技術を応用。今では、世界でも指折りの家具メーカーをはじめとする多くの製品に採用され、30ヶ国を超える国々に広がっている。主力部品の製造を本社で行うメイドイン・ジャパンへのこだわりを貫くとともに、精巧で正確な品質管理を徹底。Heart & Technology で、期待以上の革新に挑戦している企業。

- ◆ 見どころ ⇒ サーボプレスを駆使し、高精度な厚板プレス加工を実現。



B

コース

滋賀・京都方面

B-1

京セラ株式会社 滋賀八日市場

長年にわたり培ってきた通信技術により、用途や目的に合わせたスマートフォンなどの通信端末、IoT (Internet of Things)、さらにはサポートなど、最適な通信環境を提供することで、未来の情報通信社会の実現に貢献する企業。(電子部品 / 半導体関連部品 / 半導体製造装置用ファインセラミック部品 / 複合機・プリンター / 車載部品)

- ◆ 見どころ ⇒ 京セラ創業の工場。ファインセラミック部品製造(粉体プレス加工)。

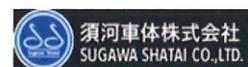


B-2

須河車体株式会社

特装車・ボトルカー(清涼飲料水運送車)を、使い手のことを考えた独自の技術力で製造する企業。受注から納品まで一貫した生産体制でオーダーメイドを感じさせない短納期に対応。またプレス部品では、油圧プレス機による深絞り加工製品やロボットを駆使したASSY工程品などを得意とする。

- ◆ 見どころ ⇒ 特装車・ボトルカーの溶接/組立ライン。プレス部品加工では、油圧プレス機による深絞り。



C

コース

兵庫加西・明石方面

C-1

株式会社千石



1953年2次プレス加工業として創業し、家庭用家電製品を製造。現在は「アラジンブランド」でオーブントースターや調理家電、石油暖房器、電気暖房器等を製造販売している。また部品事業として板金加工を主体に取扱い、自社での金型設計からプレス加工、溶接、塗装、組立まで一貫生産し、多品種小ロット品までフレキシブルにお客様のご要望に応えている。

- ◆ 見どころ ⇒ 特許技術のグラファイトヒーターを搭載した製品紹介。グラファイトヒーター製造ラインの見学。特注品や試作品など、一品一様な製品にも対応した自動機による加工。

C-2

カワサキモーターズ株式会社

川崎重工グループは1896年の創立以来、120年以上にわたり、陸・海・空の幅広い事業分野で、ものづくりを通じて高い技術・知見を培ってきた。常に世界の人々の多様な要望に応える製品・サービスを時代の変化に合わせて提供。(二輪車(オートバイ)/A/V(四輪バギー車)/スポット・アーク溶接用ロボット/アーク溶接用ロボット/組立用ロボット/航空機用ジェットエンジン/航空機用・船用ガスタービンエンジン/ガスタービン発電設備/熱電供給システム)

- ◆ 見どころ ⇒ 高級二輪車(オートバイ)の製造組立ライン。



会員の皆様を「守り育てる」 会員の皆様と一緒に「未来につなぐ」

(一社)大阪金属プレス工業会50周年 会員パートナー宣言

我が工業会ならではの情報発信力とネットワーク環境を活かしながら
会員各社の社員様の育成のお手伝いをし
各社の業績の向上を支援します。

そしてこれらの果実を享受した会員自身が
次に工業会の情報収集力とネットワークをさらに強めていきます。
会員総てが工業会のパートナーとしての自覚を持っているからです。

ますます厳しさを増すグローバル競争の中
50周年を機に、ここ関西・大阪の地で活躍する会員の皆様が発展され
それが大阪のプレス業界を活性化して
将来世代に夢と希望を繋ぐことを目指します。

2016年5月26日

一般社団法人 大阪金属プレス工業会 理事一同

一般社団法人 大阪金属プレス工業会 公式HP



一般社団法人 大阪金属プレス工業会 公式facebook



一般社団法人 大阪金属プレス工業会 公式LINE 友だち登録
(会員企業用)

